

悪を謀る者ハ自己をわやするにわらず善を謀る者に憐憫と眞實とあり、すべての勸勞にハ利益あり、されど口唇のことでハ貧乏をきたらすのみあり、智慧ある者の財寶ハその冠弁となる、愚なる者のあがりたゞ癡あり、眞實の証人ハ人のいのちを救ふ、謊言を吐く者ハ僞人なり、エホバを畏るゝこのハ堅き依頼あり、その兒童ハ迷途を導くべし、エホバを畏るゝことハ生命の泉なり、人を死の罟より脱せしむ、王の樂ハ民の多きにあり、牧伯の寶座ハ民を失ふにあり、怒を運く者ハ大なる知識あり、氣の短き者ハ愚かることを顯す、心の安穩なるハ身のいのちなり、媚嫉ハ骨の腐なり、貧者を虐むる者ハその遺主を辱るなり、彼をうやむす者ハ貧者をあはまじむ、悪者ハその惡のうちにて吐き、義者ハその死の死ぬる時にも望あり、智慧ハ哲者の心むとまじり、愚なる者の衷にある事ハあらざる、義國を高くし、罪ハ民を辱しむ、さど僞僕ハ王の恩を蒙り、辱をきたらす者ハその眞怒にあふ、家かある者ハ憤恨をどよめ、厲しき言ハ怒を激す、智慧ある者の舌ハ知識を護きものとあもとて、愚なる者の口ハおろかばく、エホバの目ハ何處にもありて、惡人と善人とを鑑みる、溫柔き舌ハ生命の橋なり、憚れる舌ハ靈魂を傷ましむ、愚なる者ハその父の訓をかるんす、誠命をまもる者ハ賢者なり、義者の家ハ多くの寶財あり、惡者の利潤ハ其の擧累あり、智者のくちびるハ知識をひろむ、愚なる者の心ハ定りなし、惡者の祭物ハエホバに憎まを直さ人の刺ハ彼に傷たる、惡者の遠ハエホバに憎まじ、正義をよとむる者ハ彼に愛せらる、道をたなる者ハ彼に徳治あり、絶責を惡むものハ死ぬべし、陰府と沈淪とハエホバの目の前にありて、人の心をや、嘲笑者ハ誠めらるゝことを好まず、また智慧ある者に近づかず、心に喜樂われ、顔色よろてば、心に憂吉われ、氣ささく、哲者のて

ノ 箴百三十四
 ヲ 箴百三十三
 ア 箴百三十二
 イ 箴百三十一
 ウ 箴百三十
 エ 箴百二十九
 オ 箴百二十八
 カ 箴百二十七
 キ 箴百二十六
 ク 箴百二十五
 ケ 箴百二十四
 コ 箴百二十三
 ケ 箴百二十二
 コ 箴百二十一
 ケ 箴百二十
 コ 箴百十九
 ケ 箴百十八
 コ 箴百十七
 ケ 箴百十六
 コ 箴百十五
 ケ 箴百十四
 コ 箴百十三
 ケ 箴百十二
 コ 箴百十一
 ケ 箴百十
 コ 箴百九
 ケ 箴百八
 コ 箴百七
 ケ 箴百六
 コ 箴百五
 ケ 箴百四
 コ 箴百三
 ケ 箴百二
 コ 箴百一

このハ知識をたぐね、愚なる者の口ハ愚をくらふ、艱難者の口ハことごとく、悪く、愚く、心の懼へる者ハ恒に酒にあり、す、この物を有てエホバを畏るゝ人多の寶をもつて擧げ、あるに徳る、蔬菜をくらひて互に愛するハ肥たる牛を以て互に恨むるに徳る、憤はり易きものハ争端をおこし、怒を興くす者ハ争端をどよむ、僞者の遠ハ棘の籬に似たり、直者の途ハ平坦あり、智慧ある者ハ父をよろてせ、愚なる者ハその母をかるんす、無知ある者ハ愚かる事をよろてび、哲者ハその途を直くす、相議ることわらざるとハ謀計やぶる、議者おはけは、謀計かならず成る、人ハその口の答によりて喜樂をう、言語を出して聞に適入ハいかに善らまや、智人の途ハ生命の路にして上へ昇りゆ、こき下にあるところの陰府を嘲れんか爲あり、エホバはたかある者の家をほらば、身婢の地界をさだめたなふ、わしき謀計ハエホバに憎やま、溫柔き言ハ諒白し、不義の利をむび、ばる者ハその家をわすらはせ、賄賂をにくむ者ハ活かざらふべし、義者の心ハ啓ふべきことを考へ、惡者の口ハ惡を吐く、エホバハ惡者に遠き、義者ハ義者の祈禱をさきたまふ、目の光ハ心をよることをせ、好音信ハ骨をうるはす、生命の誠命をさくどこの耳ハ智慧ある者の中間に駐る、教をすつる者ハ自己の生命をかるんす、善ある者ハ徳治をさく者ハ聰明を得、エホバを畏るゝことハ智慧の訓あり、謙遜ハ尊貴に先たつ、
 眞實の証人ハ人のいのちを救ふ、謊言を吐く者ハ僞人なり、エホバを畏るゝことハ生命の泉なり、人を死の罟より脱せしむ、王の樂ハ民の多きにあり、牧伯の寶座ハ民を失ふにあり、怒を運く者ハ大なる知識あり、氣の短き者ハ愚かることを顯す、心の安穩なるハ身のいのちなり、媚嫉ハ骨の腐なり、貧者を虐むる者ハその遺主を辱るなり、彼をうやむす者ハ貧者をあはまじむ、悪者ハその惡のうちにて吐き、義者ハその死の死ぬる時にも望あり、智慧ハ哲者の心むとまじり、愚なる者の衷にある事ハあらざる、義國を高くし、罪ハ民を辱しむ、さど僞僕ハ王の恩を蒙り、辱をきたらす者ハその眞怒にあふ、家かある者ハ憤恨をどよめ、厲しき言ハ怒を激す、智慧ある者の舌ハ知識を護きものとあもとて、愚なる者の口ハおろかばく、エホバの目ハ何處にもありて、惡人と善人とを鑑みる、溫柔き舌ハ生命の橋なり、憚れる舌ハ靈魂を傷ましむ、愚なる者ハその父の訓をかるんす、誠命をまもる者ハ賢者なり、義者の家ハ多くの寶財あり、惡者の利潤ハ其の擧累あり、智者のくちびるハ知識をひろむ、愚なる者の心ハ定りなし、惡者の祭物ハエホバに憎まを直さ人の刺ハ彼に傷たる、惡者の遠ハエホバに憎まじ、正義をよとむる者ハ彼に愛せらる、道をたなる者ハ彼に徳治あり、絶責を惡むものハ死ぬべし、陰府と沈淪とハエホバの目の前にありて、人の心をや、嘲笑者ハ誠めらるゝことを好まず、また智慧ある者に近づかず、心に喜樂われ、顔色よろてば、心に憂吉われ、氣ささく、哲者のて

ノ 箴百十七
 ヲ 箴百十六
 ア 箴百十五
 イ 箴百十四
 ウ 箴百十三
 エ 箴百十二
 オ 箴百十一
 カ 箴百十
 キ 箴百九
 ク 箴百八
 ケ 箴百七
 コ 箴百六
 ケ 箴百五
 コ 箴百四
 ケ 箴百三
 コ 箴百二
 ケ 箴百一
 コ 箴百
 ケ 箴九十九
 コ 箴九十八
 ケ 箴九十七
 コ 箴九十六
 ケ 箴九十五
 コ 箴九十四
 ケ 箴九十三
 コ 箴九十二
 ケ 箴九十一
 コ 箴九十
 ケ 箴八十九
 コ 箴八十八
 ケ 箴八十七
 コ 箴八十六
 ケ 箴八十五
 コ 箴八十四
 ケ 箴八十三
 コ 箴八十二
 ケ 箴八十一
 コ 箴八十
 ケ 箴七十九
 コ 箴七十八
 ケ 箴七十七
 コ 箴七十六
 ケ 箴七十五
 コ 箴七十四
 ケ 箴七十三
 コ 箴七十二
 ケ 箴七十一
 コ 箴七十
 ケ 箴六十九
 コ 箴六十八
 ケ 箴六十七
 コ 箴六十六
 ケ 箴六十五
 コ 箴六十四
 ケ 箴六十三
 コ 箴六十二
 ケ 箴六十一
 コ 箴六十
 ケ 箴五十九
 コ 箴五十八
 ケ 箴五十七
 コ 箴五十六
 ケ 箴五十五
 コ 箴五十四
 ケ 箴五十三
 コ 箴五十二
 ケ 箴五十一
 コ 箴五十
 ケ 箴四十九
 コ 箴四十八
 ケ 箴四十七
 コ 箴四十六
 ケ 箴四十五
 コ 箴四十四
 ケ 箴四十三
 コ 箴四十二
 ケ 箴四十一
 コ 箴四十
 ケ 箴三十九
 コ 箴三十八
 ケ 箴三十七
 コ 箴三十六
 ケ 箴三十五
 コ 箴三十四
 ケ 箴三十三
 コ 箴三十二
 ケ 箴三十一
 コ 箴三十
 ケ 箴二十九
 コ 箴二十八
 ケ 箴二十七
 コ 箴二十六
 ケ 箴二十五
 コ 箴二十四
 ケ 箴二十三
 コ 箴二十二
 ケ 箴二十一
 コ 箴二十
 ケ 箴十九
 コ 箴十八
 ケ 箴十七
 コ 箴十六
 ケ 箴十五
 コ 箴十四
 ケ 箴十三
 コ 箴十二
 ケ 箴十一
 コ 箴十
 ケ 箴九
 コ 箴八
 ケ 箴七
 コ 箴六
 ケ 箴五
 コ 箴四
 ケ 箴三
 コ 箴二
 ケ 箴一

六 箴言第十六章五十一節
 六 箴言第十六章五十二節
 六 箴言第十六章五十三節
 六 箴言第十六章五十四節
 六 箴言第十六章五十五節
 六 箴言第十六章五十六節
 六 箴言第十六章五十七節
 六 箴言第十六章五十八節
 六 箴言第十六章五十九節
 六 箴言第十六章六十節
 六 箴言第十六章六十一節
 六 箴言第十六章六十二節
 六 箴言第十六章六十三節
 六 箴言第十六章六十四節
 六 箴言第十六章六十五節
 六 箴言第十六章六十六節
 六 箴言第十六章六十七節
 六 箴言第十六章六十八節
 六 箴言第十六章六十九節
 六 箴言第十六章七十節

りて怒り罵はる、エホバを畏るゝことによりて人惡を離る、エホバも人の途を喜ばざるの人の敵をも
 之を和しむべし、義によりて得たるどころの僅少なる物に不義によりて得たる多の資財にまざる、
 人の心におのの途を考へたる、さまざまの歩履を導くものエホバあり、王のくちびるに神のさ
 たきあり、審判するところの口あやまる可らず、公平の權衡と天秤とのエホバのものあり、靈にある威
 懾もどしく彼の造りしものあり、惡をかくふて王の憎むとつかり、是の位に公義により
 て堅く立たせり、議しき口唇に王によつてなる、彼等正直をいふものを殺す、王の怒り死の使者の
 ごとし智慧ある人にてまをただむ、王の面の光に生命あり、その恩寵に春雨の雲のごとし、智慧を
 得るに金をうるよりも更に善しきや、聰明をうるに銀を得るよりも望まし、惡を離るゝに直き人の路な
 り、おのの道を守るに靈魂を守るあり、驕傲に滅亡にさきたち、誇る心は傾跌にさきたつ、卑き者に
 交せりて誰だるに驕ぶる者ど借にわたりて贖物をわかつに愈る、憤みて御言をかてなふ者利益を
 エホバに倚賴むもの福あり、心に智慧ありて哲者と稱へらる、くちびる甘ければ人の知識をます、
 三 明哲のてまを持つものに生命の泉となる、愚なる者をいませしむる者のいかにの癡是あり、智慧ある者
 の心にかの口の口痰をしへ、又かの口の口唇に知識をます、こころよき言に蜂靈のごとくにして靈魂に
 甘く骨に實藥となる、人の自から見て正しとする途にしての終りつひに死にいたる途となるものわ
 り、焚けるもの飲食のために骨を、星の口におののまに追きとなり、邪曲ある人惡を御するの口
 唇に烈しき火のごとくさるあり、いつはる者わらうひを起し、つげくちする者ハ朋友を脚せしむ、
 三 強暴人の隣のいぎなひを善らざる途にみちびく、その目を閉て惡を諷く、その口唇を腫めて惡

六 箴言第十七章一節
 六 箴言第十七章二節
 六 箴言第十七章三節
 六 箴言第十七章四節
 六 箴言第十七章五節
 六 箴言第十七章六節
 六 箴言第十七章七節
 六 箴言第十七章八節
 六 箴言第十七章九節
 六 箴言第十七章十節
 六 箴言第十七章十一節
 六 箴言第十七章十二節
 六 箴言第十七章十三節
 六 箴言第十七章十四節
 六 箴言第十七章十五節
 六 箴言第十七章十六節
 六 箴言第十七章十七節
 六 箴言第十七章十八節
 六 箴言第十七章十九節
 六 箴言第十七章二十節
 六 箴言第十七章二十一節

事を成遂ぐ、自棄の樂の冠弁あり、義しき途にてこそを見ん、怒を運くする者ハ勇士に愈り、おのの
 心を治むる者ハ城を取る者に愈る、人の鏡をひく、さき事わざなむると全くエホバにあり
 三 陸じうして一塊の乾けるパンあるわらうひありて辛きる音の塵たる家に愈る、かして
 三 僕ハ恥をきたらする子淑をさめ、月の子の兄弟の中にかりて產業を分ち取る、銀を討むる者ハ掛
 金を試る者ハ鏡、人の心ごころむる者ハエホバあり、惡を行ふもの虚儀のくちびるにさき、虚偽を
 いふ者おのの舌に耳を傾き、貴人を嘲る者ハその遺棄をわなごるあり、人の衆を喜ぶものハ罪
 をまぬかす、孫と老人の冠弁あり、父の子の樂あり、勝せたる事をいふに愚かる人に適はず、現て虚
 偽をいふ口唇に君たる者に適はんや、贈物にこそ受る者の目には買き珠のごとし、その向ふところ
 三 凡て幸福を買ふ、愛を追求むる者ハ人の過失をおぼし、人の事を言ふる者ハ朋友をわひ離せしむ、
 三 一句の致命の智人に徹るて百回掛つこと、愚かる人に徹るよりも深く、頻きもどる者ハた悪きこと
 のみをもどむ、此故に彼にむかひて殘忍ある他者遣はざる、愚かる者の愚妄をさすにわはなより、學ぶ
 子をとらきたる批熊にわへ、惡をもて善に報ゆる者ハ惡の家の隣を、争端の起源ハ堤より水をも
 らずに似たり、この故にあらうひの起らざる先にこそを止むべし、惡者を義とし、義者を惡しとするこ
 二の者ハエホバ憎まる、愚かる者ハすてに心かきし、何ぞ智慧をかえんとて手にの價の金をもつや、
 三 朋友のいつきの時にも愛す、兄弟の危難の時のために生る、智慧なき人ハ手を拵て、その友の前に保
 をなす、争端をこのむ者ハ罪を好み、その門を高くする者ハ取擲を求む、邪曲ある心ある者ハさい
 三 以を得ず、その舌をみだりにする者ハわざとに陥る、愚かる者を誣むものハ自己の譽を生じ愚かる者

を起すかかれ、怒ること烈しき者ハ罪をうく、汝もこれに救ふても老をく然やせるを得し、か

んち勸をさく罰をうけよ、然ハかたがれ終に智慧あらん、人の心には多くの計謀あり、惟ハカバ

の旨のみ立べし、人のよつてびハ加護するにわり貧者ハ識人に愈る、^三エハバを思ふこと人の人を

して生命にいたらしめ、かつ恒に飽足て災禍に遇さらしむ、情者ハその手を懸にいろくも之をその口に

學ることだにせず、嘲笑者を打て、さらハ拙者も憤まハ、哲者を誦めよ、さらハかれ知識を得ん、父

を傾之し母を逐入ハ養根をさたりし發辱をまねく子あり、^二わが子よ語言を離れしむる教を聴くことよを

息よ、惡き証人ハ雅列を嘲けり、惡者の口ハ惡を吞じ、^二審判ハ嘲笑者のために備へられ、懶ハ愚劣なる者

一 酒ハ人をして聊らせ、濃酒ハ人をして驕かしむ、之に迷はざる者ハ無智あり、^二王の震怒

ハ獅の吼るがごとし、彼を怒らす者ハ自己のいのちを害ム、^三穩の小屋て争うとざるハ人の聲譽あり、す

べて愚劣なる者ハ怒り争うハ、^四傍者ハ寒けられたるに刺さすこの故に収權のときにおよびて求ることも得る

とて争ふ、^五人の心にある計謀ハ深き井の水のごとし然れど哲人ハ之れを汲出す、凡ソ人の各自ハ

其の善を誇る、されど誰か忠信なる者に遇して、^六身を正しくして步履は謙人ハその後の子孫に福祿あるべ

し、^七審判の位に坐する王ハその目をもてすべての惡を報らす、^八たれが我わが心をきよめ、わが罪を潔

められたりといひ得るや、^九二種の權衡二種の斗量ハ等しくエハバに憐むる、^十幼子といへばもうその動作

によりてかかれの根性の清きか或り正きかをわらせず、^{十一}聽よこの耳と視よこの眼とこの眼と鼻と口に

ハバの遣りたるものあり、^{十二}かたや睡眠を覺すること勿れ、^{十三}恐らくハ貧窮にいたらん、汝の眼をひら

一節七〇也
二節七〇也
三節七〇也
四節七〇也
五節七〇也
六節七〇也
七節七〇也
八節七〇也
九節七〇也
十節七〇也
十一節七〇也
十二節七〇也
十三節七〇也
十四節七〇也
十五節七〇也
十六節七〇也
十七節七〇也
十八節七〇也
十九節七〇也
二十節七〇也
二十一節七〇也
二十二節七〇也
二十三節七〇也
二十四節七〇也
二十五節七〇也
二十六節七〇也
二十七節七〇也
二十八節七〇也
二十九節七〇也
三十節七〇也
三十一節七〇也
三十二節七〇也
三十三節七〇也
三十四節七〇也
三十五節七〇也
三十六節七〇也
三十七節七〇也
三十八節七〇也
三十九節七〇也
四十節七〇也
四十一節七〇也
四十二節七〇也
四十三節七〇也
四十四節七〇也
四十五節七〇也
四十六節七〇也
四十七節七〇也
四十八節七〇也
四十九節七〇也
五十節七〇也
五十一節七〇也
五十二節七〇也
五十三節七〇也
五十四節七〇也
五十五節七〇也
五十六節七〇也
五十七節七〇也
五十八節七〇也
五十九節七〇也
六十節七〇也
六十一節七〇也
六十二節七〇也
六十三節七〇也
六十四節七〇也
六十五節七〇也
六十六節七〇也
六十七節七〇也
六十八節七〇也
六十九節七〇也
七十節七〇也
七十一節七〇也
七十二節七〇也
七十三節七〇也
七十四節七〇也
七十五節七〇也
七十六節七〇也
七十七節七〇也
七十八節七〇也
七十九節七〇也
八十節七〇也
八十一節七〇也
八十二節七〇也
八十三節七〇也
八十四節七〇也
八十五節七〇也
八十六節七〇也
八十七節七〇也
八十八節七〇也
八十九節七〇也
九十節七〇也
九十一節七〇也
九十二節七〇也
九十三節七〇也
九十四節七〇也
九十五節七〇也
九十六節七〇也
九十七節七〇也
九十八節七〇也
九十九節七〇也
百節七〇也

け、然らば糧に飽べし、買者ハのふ惡し惡し、然れど去て後ハみづから誇る、^一金もわり真珠も多くわ

れど實き器ハ知識のくちびるあり、^二人の保證をなす者よりハ争うの衣をどれ、^三他人の保証をなす者ハ

かたくとらへよ、^四欺むきどしと糧ハ人に刮し、されど後にハその口に沙を充ざらん、^五謀計ハ相識るに

よりて成る、^六戰はんとせば先よく議るべし、^七あるまじくぐりて人の是非をいふ者ハ秘密をもらす、^八口唇を

ひらきてあるくものと交ること勿れ、^九このれの父母を罵るものハその燈火くらやみの中に消ゆべし、^十

初に俄に得たる產業ハその總ざいはひあらず、^{十一}われ惡に報いんとせよ勿れ、^{十二}エハバを待て、^{十三}俄かに

舌を救はれた、^{十四}二種の權衡ハエハバに憐むる、^{十五}虚偽の權衡ハ善らず、^{十六}人の步履ハエハバによる、^{十七}人いかで

自らその道を明かにせんや、^{十八}漫に誓願をたつること其人の罪となる、^{十九}誓願をたつものに考ふること

も亦然り、^{二十}賢き王ハ其をもて鐵のごとし惡人を罰し車輪をもて鐵のごとし之を罰す、^{二十一}人の靈魂ハエ

ハバの燈火にして人の心の輿を照ふ、^{二十二}王ハ仁慈と眞實をもて自らたもつ、^{二十三}その位もまた恩恵のかこなひ

によりて堅くなる、^{二十四}少者の樂ハその力、^{二十五}をいたる者の詩しきハ白髪あり、^{二十六}傷つくまで打たば惡きと

てなきとまり打る鞭ハ腹の底までもとほる

一 王の心ハエハバの手の中心にありて恰かも水の流れのごとし、^二彼のの聖旨のまくに之を尊

きたまふ、^三人の道ハこれの目に正とみゆ、^四されどエハバハ人の心をさかりたまふ、^五正義と公平を

行ハハ權より愈りてエハバに悅むる、^六高ぶる目と驕る心と惡人の光にしてたも罪のみ、^七勤めは

たらく者の圖るどころハ遂にその身を豊裕ならしめ、^八凡てされがしく急ぐ者ハ貧乏をいたす、^九虚偽の舌

をもて恥を得るハ恥せらるゝ雲煙のごとし、^十之を求る者ハ死を求むるあり、^{十一}惡者の魂ハ其の自己を吐け

一節七〇也
二節七〇也
三節七〇也
四節七〇也
五節七〇也
六節七〇也
七節七〇也
八節七〇也
九節七〇也
十節七〇也
十一節七〇也
十二節七〇也
十三節七〇也
十四節七〇也
十五節七〇也
十六節七〇也
十七節七〇也
十八節七〇也
十九節七〇也
二十節七〇也
二十一節七〇也
二十二節七〇也
二十三節七〇也
二十四節七〇也
二十五節七〇也
二十六節七〇也
二十七節七〇也
二十八節七〇也
二十九節七〇也
三十節七〇也
三十一節七〇也
三十二節七〇也
三十三節七〇也
三十四節七〇也
三十五節七〇也
三十六節七〇也
三十七節七〇也
三十八節七〇也
三十九節七〇也
四十節七〇也
四十一節七〇也
四十二節七〇也
四十三節七〇也
四十四節七〇也
四十五節七〇也
四十六節七〇也
四十七節七〇也
四十八節七〇也
四十九節七〇也
五十節七〇也
五十一節七〇也
五十二節七〇也
五十三節七〇也
五十四節七〇也
五十五節七〇也
五十六節七〇也
五十七節七〇也
五十八節七〇也
五十九節七〇也
六十節七〇也
六十一節七〇也
六十二節七〇也
六十三節七〇也
六十四節七〇也
六十五節七〇也
六十六節七〇也
六十七節七〇也
六十八節七〇也
六十九節七〇也
七十節七〇也
七十一節七〇也
七十二節七〇也
七十三節七〇也
七十四節七〇也
七十五節七〇也
七十六節七〇也
七十七節七〇也
七十八節七〇也
七十九節七〇也
八十節七〇也
八十一節七〇也
八十二節七〇也
八十三節七〇也
八十四節七〇也
八十五節七〇也
八十六節七〇也
八十七節七〇也
八十八節七〇也
八十九節七〇也
九十節七〇也
九十一節七〇也
九十二節七〇也
九十三節七〇也
九十四節七〇也
九十五節七〇也
九十六節七〇也
九十七節七〇也
九十八節七〇也
九十九節七〇也
百節七〇也

